

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	他の事業所との相互訪問する機会が少なく、自分たちのサービスの長所短所が解らずに介護しているように思う。	他の事業所の職員と交流することにより情報交換を円滑にして、互いのサービスの質を高める。	全職員が他の事業所に1回以上一日体験実習に行けるようにする。	9ヶ月
2	19	家族との情報交換した内容を詳細に記録することができなかった。	利用者の情報を家族と密に共有し、職員・家族が協力して利用者を支えていく。	・利用者の生活状況や心境報告を担当職員が家族に対して行う。報告したことや報告を受けたことを個人ケースに記載し職員間で共有する。 ・行事へ家族参加を増やす為アンケート実施	6ヶ月
3	25	利用者一人ひとりのペースで生き生き暮らして頂くことを更に一歩進めるために。	利用者の笑顔を引き出す介護をする。	一日の暮らしリズムを一週間調査して、一日のどこに支援したほうが暮らしやすいかを再検討する。	6ヶ月
4	34	緊急時対応の講習を受けてる職員がほとんどであるが、新人にも定期的に講習を受けさせたい。	応急手当や人工呼吸の仕方を身につける。	消防署の応急手当講習をホーム職員が順番に受けていく。	9ヶ月
5	35	防災訓練時、参加職員のなかにスムーズに動けない人がある。	災害時に各自がどのように動くべきかを職員が分かっている。	避難訓練は実施してるので、災害時での職員の行動をもっと細かくしたマニュアルを作成する。	9ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。